

リユース食器の使用による廃棄物を減らす取り組み



大阪関西・万博では、日々発生する廃棄物を削減させることを目的に、取り組みの一つにリユース食器の導入にチャレンジしています。

例えば万博会場内にはフードトラックエリアを設けていて、その内 7 エリアでリユース食器を導入しています。リユース食器を使用することにより、すぐに廃棄される使い捨て容器を抑制しています。

大阪・関西万博のように長期間開催される大規模イベントでのリユース食器の導入は例がないため、レガシーとなるよう取り組んでいます。

来場者のみなさまも、会場内でリユース食器を使用して、使い捨て容器を減らす取り組みを体験されてはいかがでしょうか。

《背景》

大阪・関西万博では、会場内におけるプラスチックの利用削減（脱プラスチック・減プラスチック）を海外の取り組みと比較して一歩先を行くために、加速度的に取り組んでいく必要があります。

そして、会場内ではプラスチックや食品等、日々発生する廃棄物をリデュース・リユースにより最大限削減した上で、分別排出された資源のリサイクルを行います。

政府の基本方針である 3R + Renewable の優先順位を踏まえて、会場内で日々発生する廃棄物を極力発生させない会場運営に取り組んでいます。

以上